

今回登録箇所

関係自治体	水系／河川	主な事業内容			
		河川整備	下水道整備	流域対策	ソフト対策
茨城県 水戸市	なかがわ 那珂川水系 さくらがわ(さわたりがわ) 桜川(沢渡川)	<ul style="list-style-type: none"> •河川整備 	<ul style="list-style-type: none"> •雨水ポンプの増強 •下水道管渠の整備 	<ul style="list-style-type: none"> •流域貯留浸透施設の整備 等 	<ul style="list-style-type: none"> •洪水ハザードマップの周知 •防災情報の提供 等
愛知県 名古屋市	しょうないがわ 庄内川水系 ほりかわ 堀川	<ul style="list-style-type: none"> •河川改修 	<ul style="list-style-type: none"> •雨水ポンプ所の新設 •雨水ポンプの増強 •雨水貯留施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> •雨水流出抑制施設の整備 等 	<ul style="list-style-type: none"> •ハザードマップ(内水・外水)の全戸配布 •名古屋駅地下街を対象とした水位周知下水道の指定 等

桜川(沢渡川)流域における浸水被害軽減プラン【茨城県水戸市】

流域の概要

- 桜川(沢渡川)流域では、近年多発する局地的豪雨により、浸水被害が生じている
- 近年では、平成24年5月豪雨により、流域内で床上浸水12件、床下浸水2件の被害、JR常磐線運転見合わせ等が発生
- 茨城県における時間雨量50mm以上の発生回数
 - ・昭和55年から平成21年までの30年間では、平均1.9回/年
 - ・平成22年から平成27年では、平均4.7回/年と時間雨量50mm以上の発生回数が増加傾向にある
- 浸水被害軽減プランで対象とする降雨
平成24年5月豪雨 最大時間雨量56mm

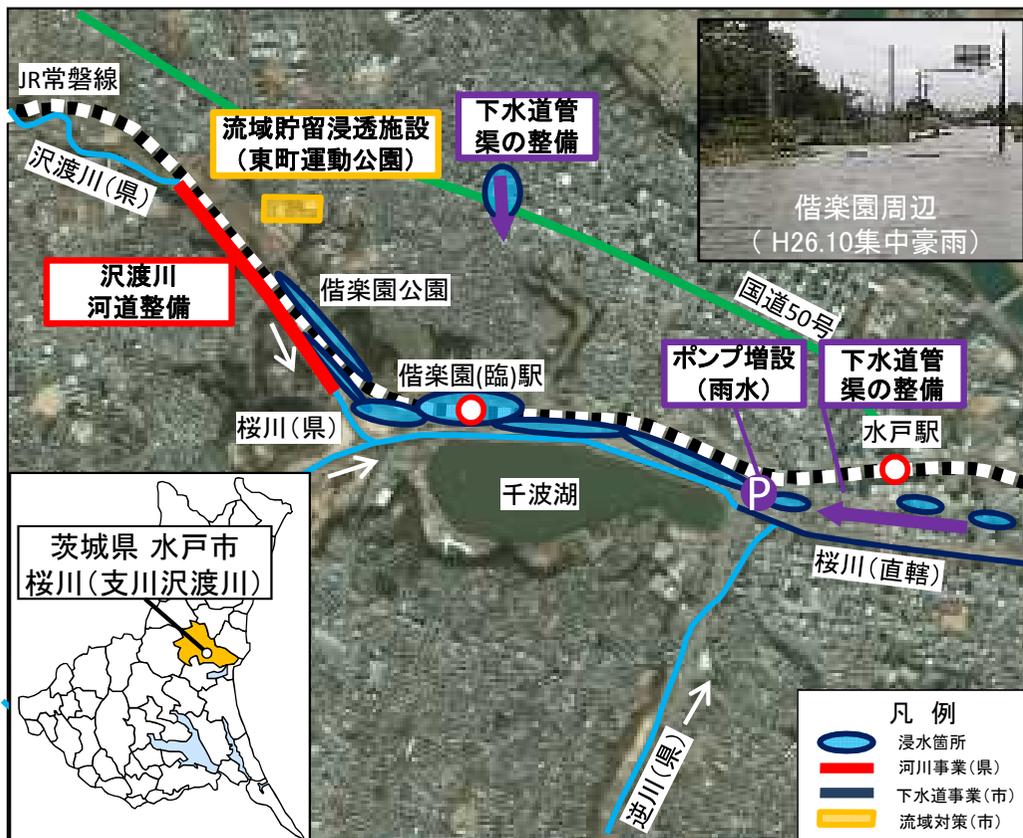
浸水被害の主な要因

- 一気に河川に流入した雨水を安全に流せず、外水による浸水が発生することで、内水が適切に排水できずに浸水被害を拡大させている。
 - 排水能力を超える降雨の増加
 - 洪水を安全に流すための河川改修の遅れ
 - 都市化の進展や土地利用の変化などによる、流出量の増大
- 流域における浸水対策を関係機関が一体となり、効果的に組み合わせ推進する必要がある。

桜川(沢渡川)流域の総合的な浸水対策について、茨城県・水戸市・企業等からなる「桜川(沢渡川)流域の総合的な治水対策検討会議」で検討し関係機関が対策を実施

桜川(沢渡川)流域の総合的な治水対策検討会議

組織	部局等
国土交通省	常陸河川国道事務所
茨城県	土木部河川課, 都市局下水道課, 公園街路課, 水戸土木事務所
水戸市	下水道部下水道管理課, 建設部建設計画課, 河川都市排水課
企業等	JR東日本水戸支社, 茨城大学



取組の概要

- 河川・下水道
 - ・沢渡川河道整備
 - ・下水道管渠の整備, 雨水ポンプの増強
- 流域対策
 - ・貯留浸透施設の整備(東町運動公園など)
 - ・住民の雨水貯留・浸透施設, 浄化槽転用施設の設置推進
- 危険周知・水防活動
 - ・水戸市HP, メールマガジン, LINE, ツイッター, 緊急速報メール, フェイスブック, FMラジオ等による防災情報の提供
 - ・洪水ハザードマップの周知
 - ・水位計の設置と水位情報の公表

取組の効果(目標)

平成24年5月降雨と同規模の降雨に対して、家屋の浸水被害の解消と線路冠水によるJR常磐線の運転見合わせの軽減を図る。

流域の概要

○堀川流域および名古屋駅周辺では、過去から多く浸水被害に見舞われ、平成12年9月の東海豪雨では、床上185戸、床下2677戸の浸水被害が発生

○近年、局所的豪雨が顕在化し、甚大な水害が多発
愛知県における時間雨量50mm以上の発生回数は、
・S52～H8の20年間で発生回数は5回
・H9～H28の20年間で発生回数は11回 →**2.2倍**
(観測地点:名古屋地方气象台)

○名古屋駅周辺ではリニア中央新幹線開業を見据え都市機能が集積(地下空間も拡大)

⇒頻発する局所的豪雨に対して早急な治水対策が必要



【浸水被害の主な要因】

- 頻発する集中豪雨により、浸水に対する危険度が増大
 - 下流から河川改修を進めているが、全川が完了するまでは時間を要するため、中上流部で排水が困難
 - 名古屋駅周辺は標高が低く雨水が集まりやすい
- ⇒**広域的な治水対策を関係機関が一体となり効果的に組合せ推進する必要がある**

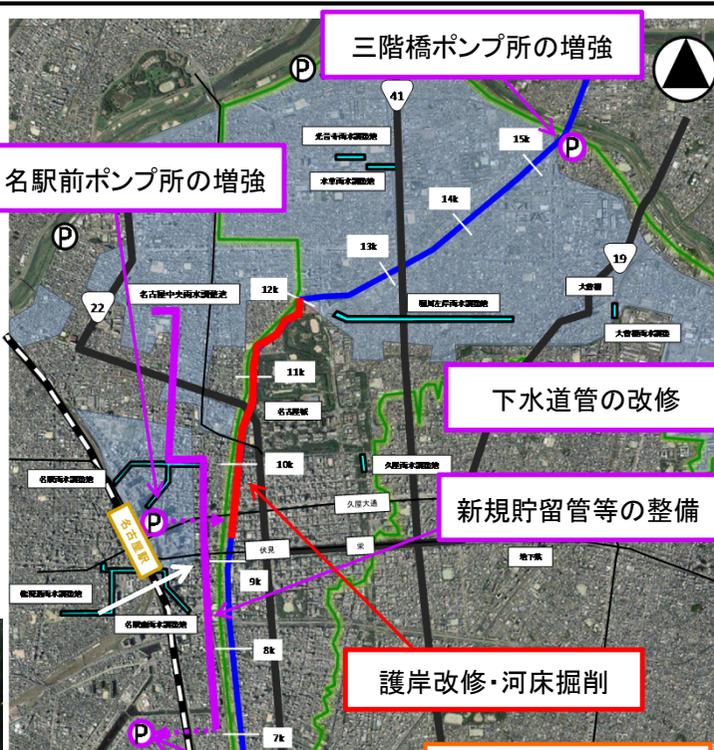
名古屋市内の流出抑制を推進するため、関係部局からなる「**名古屋市雨水流出抑制推進会議**」を設置し、関係機関が対策を実施

名古屋市雨水流出抑制推進会議 (S62.3～)

組織	部局
市関係	緑政土木局、上下水道局、防災危機管理局、総務局、財政局、市民経済局、観光文化交流局、環境局、健康福祉局、子ども青少年局、住宅都市局、交通局、病院局、消防局、教育委員会

浸水被害の概要

凡例	
	浸水範囲(東海豪雨)
	河川
	流域界
	河川事業
	下水道事業
	雨水調整池
	ポンプ所



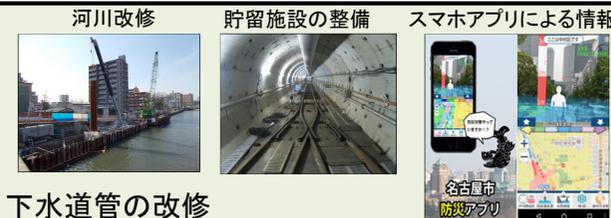
H25.9.4 堀川状況

H12.9.12(東海豪雨)
床上浸水 185戸
床下浸水 2677戸

- 名古屋市防災条例(平成18年10月)の策定
 - ・関係部局と連携した雨水流出抑制施策の推進
 - ・民間施設等に対する雨水流出抑制対策の協力要請
 - ・市民への雨水流出抑制対策の協力依頼、普及啓発

取組内容

- 河川・下水道
 - ・河川改修
 - ・雨水貯留施設の整備、雨水ポンプ所の新設・増強、下水道管の改修
- 流域対策
 - ・特定都市再生緊急整備地域内における雨水流出抑制施設設置の推進
 - ・公共施設、開発事業者による雨水流出抑制施設の整備
 - ・道路、公園等における透水性舗装及び浸透雨水樹の設置
- 危険情報周知、水防活動
 - ・雨量、河川水位、道路、河川のカメラ画像等の提供
 - ・ハザードマップ(内水・外水)全戸配布
 - ・名古屋駅地下街を対象にした水位周知下水道の指定
 - ・名古屋市防災アプリによる現在位置の想定浸水深・避難所を可視化
 - ・各区で市民と行政が一体となった「総合水防訓練」等の実施



取組効果

関係機関が対策を実施することにより、対象降雨に対する堀川上流域の浸水を低減するとともに、名古屋駅周辺の地下空間への浸水を解消する。

100mm/h安心プラン 登録箇所一覧

今回の登録箇所を含め、21箇所の計画が登録されています。

	関係自治体	水系／河川	登録月
1	富山県、高岡市	庄川水系／地久子川 小矢部川水系／谷内川、守山川、四屋川	平成25年9月
2	石川県、金沢市	犀川水系／犀川、高橋川、安原川、木曳川 大野川水系／大野川、浅野川、森下川、弓取川、大宮川、源太郎川、柳瀬川、馬渡川	
3	静岡県、沼津市	富士川水系／沼川、高橋川	
4	静岡県、焼津市	瀬戸川水系／石脇川	
5	静岡県、浜松市	天竜川水系／安間川	
6	栃木県、鹿沼市	利根川水系／小藪川	平成26年2月
7	岐阜県、多治見市	庄内川水系／土岐川、脇之島川	
8	静岡県、富士市	富士川水系／小潤井川、伝法沢川	
9	愛知県、名古屋市	庄内川水系／堀川	
10	愛知県、名古屋市	山崎川水系／山崎川	平成26年9月
11	福島県、郡山市	阿武隈川水系／阿武隈川、逢瀬川、南川、谷田川	
12	千葉県、茂原市	一宮川水系／一宮川、梅田川	
13	長野県、岡谷市	天竜川水系／塚間川	平成27年2月
14	静岡県、袋井市	太田川水系／太田川、小笠沢川	
15	福岡県、北九州市	紫川水系／紫川、神嶽川	
16	佐賀県、佐賀市	筑後川水系／佐賀江川、三間川、黒川、城東川 嘉瀬川水系／本庄江、地蔵川	
17	埼玉県、春日部市	利根川水系／新方川、会之堀川	平成27年11月
18	愛知県、東海市	大田川水系／大田川	平成28年2月
19	兵庫県、姫路市	八家川水系／八家川	平成29年3月
20	茨城県、水戸市	那珂川水系／桜川(沢渡川)	平成30年1月
21	愛知県、名古屋市	庄内川水系／堀川	